

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物および什器備品・・・定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	3,867,248	0	0	3,867,248
合計	3,867,248	0	0	3,867,248

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	190,260	45,204	145,056
什器備品	5,203,842	4,117,569	1,086,273
合計	5,394,102	4,162,773	1,231,329